

交通バリアフリー教室 in 水戸市立堀原小学校

茨城運輸支局では、令和5年10月2日（月）に水戸市立堀原小学校の4年生47名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和5年10月2日（月） 10:30 ～ 12:00
- 場 所：水戸市立堀原小学校
- 参加者：4年生 47名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ



参加者の感想

- ・車いす体験は、1人だととてもむずかしいから、手つだってもらうとやりやすかった。
- ・高齢者体験では、足がまがらなくてつらかった。手が重かった。
- ・「高齢者体験」では、つえやサポートしてくれる人がいて安心して乗りおりができた。他に乗る人からしたら、早くしてほしいと思われるかもしれないと思うと、ごめんなさいという気持ちと恥ずかしい気持ちになって大変だと思いました。
- ・介助者は車いすをゆっくり押さないと、乗っている人が不安でこわいという気持ちになるので、ゆっくりおすことで少しでも安心させることが大切だと気付きました。
- ・「手伝いますよ」の手伝う気持ちが大切だと思った。協力すればうれくなる。



車いす体験



高齢者疑似体験



グループ発表